

登録コード	E2186900	開講年度	2026				
授業科目	倫理学				担当教員	松島 恒熙	
英文授業名	Ethics I				副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	2年生以上
講義室	教育図書2階講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				倫理学における代表的な思想について基本的な内容を理解し、他者に説明することができる。 倫理的な問題を、独断的な信念によらず他者との対話を通じて吟味することができる。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				倫理学における理論について、教育現場で扱うことを視野に入れながら思考することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム	ローカル・イノベーター養成コース、環境マインド実践人材養成コース、ライフクリエイター養成コース						
(4)授業の概要	この授業では、倫理学に関する理論を広く扱い、それらが私たちの身近な問題と結びついていることを学ぶ。さらにそれらの理論を学校現場においてどのように扱い得るのか、学習指導要領も参照しながら考察していく。進め方としては、最初に倫理学に関する理論を紹介し、それに繋がる身近な事例についてグループで哲学対話を実施する。その後、当該理論を学校現場で扱う際の授業法について学習指導要領を参照しながら考察し、グループごとに発表する。						
(5)授業計画	第1回：ガイダンス、倫理学の分類 第2回：社会契約論 第3回：功利主義 第4回：義務論 第5回：他者論 第6回：徳倫理 第7回：国家と分配 第8回：生命倫理と身体 第9回：生命倫理と技術 第10回：動物倫理と人間 第11回：環境倫理と世代間倫理 第12回：情報倫理とAI 第13回：教育の倫理 第14回：授業のまとめ、期末レポート（授業アンケートの実施） ＊教育実習等での欠席者に対しては、適宜課題等での補講を実施する。						
(6)成績評価の方法	達成目標 について毎回の授業プリント（50％）で評価し、達成目標 について、期末レポート（50％）によって評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	毎回の授業プリント、期末レポートについて、 ()適切なまとめと説得的かつ創造的な論点が記述できていれば「卓越している」。 (ii)適切なまとめと説得的な論点が記述できていれば「かなり上にある」。 (iii)整合性があり、十分に妥当な論点が記述できていれば「やや上にある」。 (iv)基礎的な理解があり、妥当性の認められる論点が記述されていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	・事前に資料を配る場合は、読んで予習をしておくこと。 ・授業で扱われたテーマに関して、学習仲間と自発的な議論を行い、理解を深めておく。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	・毎回の授業プリントが提出物になるので、出席が重要な要素になります。 ・毎回、哲学対話を実施するので積極的に参加してください。 ・一緒に哲学しましょう。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	授業の前後やオフィスアワーにて対応する。matsuko@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	『倫理学入門』品川哲彦、中央公論新社、880円（税別）						
【参考文献】	適宜紹介する。						